

今月の  
トピックス

～ 年頭のご挨拶 ～

明けましておめでとうございます。  
JCOGデータセンター長の福田です。

恒例により新年のご挨拶をさせていただきます。

一昨年は暑い暑い夏のあと、秋を感じる間もなくいきなり冬が来ましたが、昨年はそれなりに秋を感じられた季節の移り変わりだったように思います。例年より長いお正月休みも概ね穏やかに過ごされた方が多かったのではないのでしょうか。



福田 治彦

昨年のJCOG全体としての患者登録は2,728例と、久々に3,000例を下回りやや低調でした。登録が終了した試験(登録不良による早期中止2を含む)が多く、登録中の試験が40弱と少なくなったのが主因と思われますが、登録達成割合も一昨年の92.4%から85.5%に下がっていますので、登録ペースが良好でない試験が相対的に多くなったためとも言えます。各グループで登録ペース改善を図っていただければと存じます。

データセンター/運営事務局reviewありの論文は前年の47本を上回り49本でした。骨軟部腫瘍グループのJCOG0905の主たる解析論文(筆頭著者:平賀博明先生)と肝胆膵グループのJCOG1611の主たる解析論文(筆頭著者:大場彬博先生)がいずれもnegative resultsでしたがJ Clin Oncolに掲載されました。Negativeであっても重要なエビデンスとなる、ある意味JCOG試験ならではのとも言えるでしょう。診療ガイドラインへの採択数も10件と堅調で累積では200件を超えました。

「未回収CRF」や「問い合わせへの未回答」等のCRFパフォーマンスについては、乳がんグループに始まった「未回収CRF撲滅キャンペーン」が他グループにも拡がり、一部を除いて全体的には良好な状況でした。各グループで督促にご尽力いただいたリーダーの先生方、対応いただいた施設研究者の先生方に深く感謝いたします。

AMEDの研究費獲得も順調で、過去最多だった一昨年来を上回る67課題が支援を受けました。前年同様、肺がん外科グループが10課題と最多でした。

医師主導治験では、データマネジメントを内製化した第2号でJCOG初のプラットホーム試験である乳がんグループのJCOG2205(S-FACT)の最初のコホートの登録が12月に完遂しました。新規の医師主導治験の相談も複数のグループから寄せられています。

医療経済小委員会によるJCOGポリシー「医療経済」が承認され、医療経済委員会が発足するとともに、コンセプトに対する医療経済審査が始まることになりました。

患者市民参画については、恒例の年2回の患者市民セミナーに加えて、各グループでの意見交換会が計8回開催され、通算では15グループでのべ58回となり、新規計画研究等についての意見交換が進んでいます。Lay summaryは7試験について作成・公開され計21試験となりました。プレスリリースも3件（試験結果：骨軟部JCOG0905、食道がんJCOG1409、大腸がんJCOG1609INT（EORTCとの共同研究））行われました。

一方で、懸案のJCOG-BBJ連携拡張バイオバンクについては資金的目途が立たず、共通バイオバンクも含めて断念・縮小も含む変革の決断を迫られており、個々の研究の附随研究として企業との連携へのシフトも視野に入れなければなりません。

課題は多いですが、エネルギーで大きな決断をすることで物事が好転すると言われている「丙午(ひのえうま)」の年、皆様にとって新しいチャレンジの年になることを祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

JCOGデータセンター長 福田 治彦

## 2025年表彰者

## ◆JCOG下山正徳賞

福原 規子先生:東北大学病院

JCOG1411研究事務局／リンパ腫グループ

2024年12月～2025年11月主要な国際学会にて発表されたJCOG研究のうち、がん治療の進歩にもっとも貢献したと認められた研究者に贈られます。

※下山正徳先生:初代JCOG代表者



### ◆ Best Coordinator

静岡県立静岡がんセンター 臨床研究管理・調整室  
研究支援者のみなさま

データマネージャーが選ぶ賞です。

研究への貢献度などから、この1年で、もっとも感謝の意を表したい研究者に贈られます

◆Most Active Physician Award 2025

JCOG試験の年間登録数がもっとも多かった研究者に贈られます

**第1位 宮田 義浩先生**：広島大学病院／肺がん外科グループ

**第2位 江原 一尚先生**：埼玉県立がんセンター／胃がんグループ

**特別賞 橋根 勝義先生：四国がんセンター／泌尿器科腫瘍グループ**

受賞されたみなさまおめでとうございます！

これまでの各賞の受賞者はJCOG ウェブサイトからご覧いただけます。



JCOG公式SNS

JCOG研究に関わる研究結果やイベント情報など最新情報を発信しますので、ぜひフォローしてくださいね！

ユーザーネーム: @JCOG\_official URL: [https://x.com/JCOG\\_official/](https://x.com/JCOG_official/)

Facebookページ URL: <https://www.facebook.com/JCOG.official>

JCOGウェブサイトのトップページからも関連ページへアクセスいただけます。

頭頸部がんグループの新しい試験であるJCOG2407「喉頭癌 T3-T4aN0に対する予防的頸部郭清省略の意義を検証するランダム化比較第III相試験」(略称: JALNECK) が承認されました。カプセルサマリー、コンセプト作成、プロトコール作成、承認に至るまでグループの先生方、JCOGデータセンター、運営事務局、審査委員をはじめとする関係者の皆様には、多大なるご指導とご支援に心より感謝申し上げます。

本試験は、T3-T4aN0喉頭癌を対象に、喉頭全摘出術を受ける患者さんにおいて、これまで標準的に行われてきた側頸部予防郭清を省略しても、全生存期間において劣らないことを検証する臨床試験です。

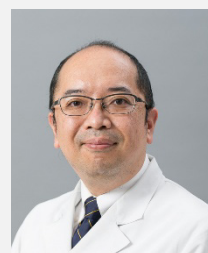
喉頭癌は発声や呼吸に深く関わる喉頭に発生するがんであり、進行例では喉頭全摘出術が必要となる場合があります。頸部リンパ節転移を認めない場合、喉頭全摘出術にあわせて再発予防を目的として側頸部郭清が併施されることが一般的ですが、これにより肩の動かしにくさや、しびれなどの術後機能障害が生じることも少なくなく、また手術時間の延長、出血量の増加、咽頭瘻孔をはじめとした術後合併症を増加させるデメリットがあると考えられています。

一方で、側頸部郭清が全生存期間を改善するというエビデンスはなく、日常診療でも根拠がないままに3割程度で側頸部郭清が省略されているのが現状です。

そこでJCOG2407試験では、T3-T4aN0の喉頭癌患者さんを対象に喉頭全摘出手の際の予防的頸部郭清の施行を直接比較することを考えています。全生存期間に加えてQOL(生活の質)や術後機能、周術期合併症なども詳細に評価します。予防的頸部郭清を省略しても生存期間が同等であり、術後機能が軽減されることが示されれば、患者さんの身体的負担を軽減し、術後の生活の質を向上させる新たな標準治療の確立につながると考えています。



研究代表者  
本間明宏



研究事務局  
齊藤祐毅



QOL事務局  
西尾直樹

JCOG2407試験は、日常診療で長年議論されてきた重要な臨床課題に真正面から取り組む試験です。本試験は280人の患者さんにご協力をいただき、進める予定でおります。試験の成功には参加施設の関係各位、患者さんのご協力が必要不可欠です。JCOG研究者の皆さまには積極的な登録へのご協力を、また一般・市民の皆さまには、本試験を通じたより良い喉頭癌治療の確立への取り組みにご理解とご支援をお願いいたします。

JCOG2407研究代表者

北海道大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室  
本間明宏

JCOG2407研究事務局

東京大学大学院医学系研究科・医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科  
齊藤祐毅

JCOG2407 QOL事務局

名古屋大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科 西尾直樹

## JCOG学会発表情報 ASCO<sup>®</sup> Gastrointestinal Cancers Symposium

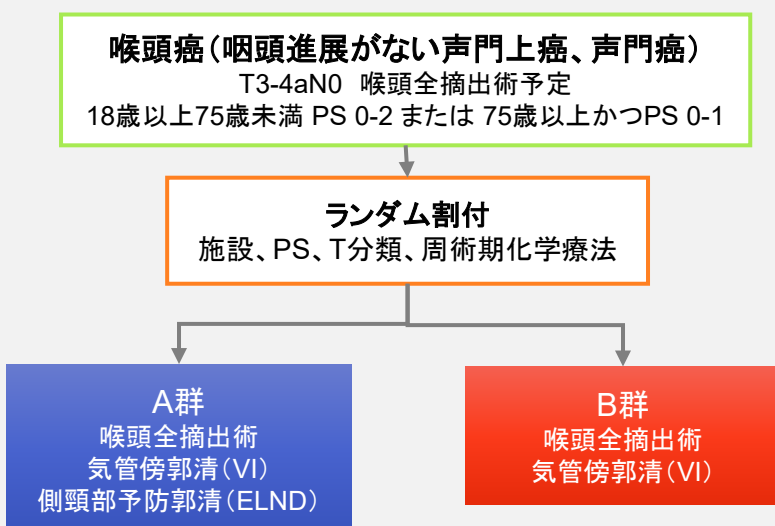
[Gastrointestinal Cancers Symposium 2026/1/8~10](#)

### ■研究結果発表

JCOG1809(胃がんグループ)	木下 敬弘 先生 国立がん研究センター東病院
JCOG1704(胃がんグループ)	木藤 陽介 先生 石川県立中央病院
JCOG1507(胃がんグループ)	安福 至 先生 岐阜大学
JCOG0603S1(大腸がんグループ)	大内 晶 先生 愛知県がんセンター
JCOG1109S9(食道がんグループ)	吉井 貴子 先生 埼玉県立がんセンター
JCOG1611S1(肝胆膵グループ)	福島 泰斗 先生 神奈川県立がんセンター

### ■研究内容発表

JCOG2311(食道がんグループ)	坂中 克行 先生 京都大学医学部附属病院
--------------------	-------------------------





- ◇リンパ腫グループJCOG0601S5 藤本亜弓先生  
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/41420335/>  
Impact of Achieving Progression-Free Survival 24 on Subsequent Overall Survival in Diffuse Large B-Cell Lymphoma Patients, Cancer Science, 2025 Dec 19. Online ahead of print.
- ◇リンパ腫グループJCOG2201デザインペーパー 佐野裕亮先生  
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/41402979/>  
Protocol digest of a randomized phase III study of pola-R-CHP/high-dose methotrexate/IT vs. pola-R-CHP/IT for newly diagnosed diffuse large B-cell lymphoma with high risk of central nervous system relapse: JCOG2201 (PREMIER), Japanese Journal of Clinical Oncology, 2025 Dec 17. Online ahead of print.
- ◇食道がんグループJCOG2311デザインペーパー 坂中克行先生  
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/41331921/>  
Study protocol of a randomized controlled phase II trial comparing nivolumab, ipilimumab plus radiotherapy versus nivolumab plus ipilimumab for advanced or recurrent esophageal cancer: Japan Clinical Oncology Group study JCOG2311 (ART NOUVEAU), BMC Cancer, 2025 Dec 3. Online ahead of print.
- ◇胃がんグループJCOG1001S8 山田貴允先生  
[https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1002/ags3.70123?utm\\_medium=article&utm\\_source=researchgate.net](https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1002/ags3.70123?utm_medium=article&utm_source=researchgate.net)  
Risk Factors for Body Weight Loss After Gastrectomy for Gastric Cancer Analyzed From the JCOG1001 Phase III Trial, Annals of Gastroenterological Surgery, 2025 Nov 15. Online ahead of print.
- ◇泌尿器科腫瘍グループJCOG1905デザインペーパー 松元崇先生  
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/41324490/>  
A randomized controlled phase III trial on continued or paused PD-1 pathway blockade for patients with advanced renal cell carcinoma (JCOG1905, STOP study): a study protocol, Japanese Journal of Clinical Oncology, 2025 Dec 1. Online ahead of print.

担当医別月間登録数

- ◇肺がん外科グループ(月間登録数:3)  
寺田志洋先生／信州大学医学部  
遠藤誠先生／山形県立中央病院
- ◇胃がんグループ(月間登録数:2)  
江原一尚先生／埼玉県立がんセンター  
西田正人先生／静岡県立総合病院  
柄田智也先生／富山県立中央病院  
木下淳先生／金沢大学医学部
- ◇食道がんグループ(月間登録数:3)  
藤田武郎先生／国立がん研究センター東病院
- ◇リンパ腫グループ(月間登録数:3)  
根来英樹先生／福井大学医学部附属病院
- ◇大腸がんグループ(月間登録数:2)  
平沼知加志先生／埼玉医科大学国際医療センター  
竹山廣志先生／市立吹田市民病院
- ◇泌尿器科腫瘍グループ(月間登録数:2)  
寺田直樹先生／福井大学医学部附属病院
- ◇消化器内視鏡グループ(月間登録数:2)  
森田宗新先生／大阪国際がんセンター  
土肥統先生／京都府立医科大学附属病院

(担当医別最多登録数が1例のグループは割愛しています)

グループごと月間登録数

登録数月次レポート  
<https://secure.jcog.jp/DC/DOC/member/report/index.html>

グループ	10月	11月	12月	合計
肺がん外科	60	68	67	195
リンパ腫	20	26	25	71
大腸がん	22	28	18	68
食道がん	25	17	24	66
胃がん	22	20	21	63
肝胆膵	19	17	8	44
消化器内視鏡	9	7	16	32
乳がん	10	11	8	29
放射線治療	7	5	14	26
肺がん内科	5	9	9	23
脳腫瘍	4	5	4	13
泌尿器科腫瘍	4	6	3	13
骨軟部腫瘍	1	1	4	6
皮膚腫瘍	1	2	2	5
頭頸部がん	0	0	0	0
婦人科腫瘍	0	0	0	0
合計	209	222	223	654



JCOGデータセンターより

●2025年12月の登録は223例、2025年は年間2,728例でした

